

しんぶん

赤旗

日刊 ●月 3497円
日曜版 ●月 990円

南地域後援会は本町・寿・緑・若松・栄・白山・船戸・新田がエリア

連絡をいただければ「しんぶん赤旗」の見本を届けます

しらかば

日本共産党我孫子南地域後援会
発行責任者 木村 文次

戦後最悪 自維連立政権悪政オンパレード

26年にわたる自民・公明連立政権が崩壊したもとの、10月21日、臨時国会が開会し、新たに自民と維新の会の連立による高市早苗政権が発足しました。

消費税減税棚上げ・大軍拡前倒し

参院選での国民の審判は、消費税減税、裏金問題の徹底追求と企業団体献金の全面禁止です。

ところが連立合意でこれらの政策は棚上げにしています。

一方で、①今国会中に憲法9条の改悪に向けた両院の「条文起草協議会」を設置②今年度中の医療費4兆円削減の具体化③大軍拡は前倒しで実施④「スパイ防止法」案を速やかに策定・成立⑤選択性夫婦別姓の要求を封じ込める「旧姓の通称使用の法制化」⑥「外国人政策」という排外主義など、「自民党政治をさらに悪くする悪政のオンパレード」です。

議員定数削減許さぬ

重大なことは、衆議院

定数1割削減の法案を今国会に提出し、成立をめざすというものです。

削減のターゲットは比例定数。国民の1票が最も議席に反映する比例の定数削減は「民意の切り捨て」です。国民の声をますます国会に届かなくなり、議会による政府監視機能を弱めます。裏金事件の真相解明にフタをした



自民党にとっても、これほど都合のよいことはありません。

議員定数を含め選挙制度は民主主義の土台であり、そのあり方は全ての政党による国民的議論が不可欠です。

反動ブロックの危険が

日本共産党は、9月の第6回中央委員会総会で「反動ブロックが形成され、社会保障など国民生活の破壊、大軍拡の暴走、憲法と民主主義の蹂躪、ジェンダー平等への逆流など、日本の政治に深刻な逆行をもたらす危険が生まれている」と警鐘を打ってきましたが、まさ

に今回発足した自民・維新の連立政権は「悪政推進の反動ブロック」そのものであり、戦後の自民党政権の歴史のなかでも国民にとって最悪の政権となる危険を持つ政権です。

反動ブロックと正面から対決を

反動ブロックの危険に正面から対決し、平和、民主主義を擁護、発展させる新しい国民的・民主的共通をつくり、広げることがいよいよ大切です。



正面から対決せにゃー

「アメリカいいなり」ではなく、憲法と平和を断固として守る立場での共

日本共産党我孫子市議団のホームページのサイトは <https://jcp-abiko.com/> です。スマホのQRコードはこちらから。→



日帰り散策のお知らせ

- ▼場所 長禅寺・取手宿散策(雨天中止)
- ▼日時 11月16日(日)10:00我孫子駅改札前集合(10:10発取手行きに乗車予定です)
- ▼コース 長禅寺→旧取手宿本陣→八坂神社→念仏院→新町屋旅館跡→小堀渡し→昼食
- ▼14:00頃解散予定

主催 日本共産党我孫子南地域後援会

志賀は柳宗悦の勤めで大正4年から12年まで我孫子に住み、代表作『城の崎にて』『和解』『小僧の神様』『暗夜行路』(後編三まで)を書



去年、志賀直哉の草稿が発見され、白樺文学館ではこれを記念して『暗夜行路』の軌跡というタイトルの3月1日まで草稿が初公開されます。

『暗夜行路』草稿初公開記念『暗夜行路』の軌跡

大正5年に武者小路実篤が移り住み、バーナードリーチが柳宗悦の邸内に窯を築き仕事を始めたころが「白樺」隆盛時代といわれています。当時、岸田劉生、芥川龍之介、有島武郎たち多くの客人が訪れ、船や徒歩で毎日のように往来したといえます。志賀は我孫子で長女と長男を亡くしています。長女の死と父との長年の不和を描いたのが『和解』です。(栄工)

同をつくることは、反動ブロックに立ち向かう上でも要の力となります。時流に流されず、自民党政権を大本から改革する立場を確固として貫く

日本共産党が大奮闘してこそ、日本の政治を前に動かし、希望のある新しい政治をつくることができます。(しらかば編集部)

オオバン

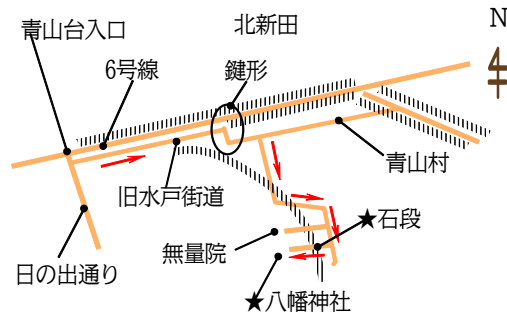
9月議会以来、平均31・8%の値上げが決まりました。値上げに賛成は15、反対7でした。今までは毎月検針、毎月支払いでしたが、来年9月からは2ヶ月ごとの検針、支払いになります。基本料金は、今まで水道管の口径13mmのみ毎月979円で、20mm〜250mmまで一律1166円でした。それが13mmの1287円から250mmの最大2万2千円まで値上がりします。使用量も5立方メートルまで無料だったものが10立方メートルまで1立方メートルごとに33円に、11立方メートル以上も使用量が増えるごとに料金が高くなります。3月の千葉県知事選挙では水道料金の値上げが一番の争点になりました。県水を使っているのは県内の3分の2で、東葛地域は各市が水道の管理を行っています。県の値上げ率は約20%。我孫子はその5割以上の値上げ率です。埼玉県八潮市の陥没事故をみても、水道管の更新と耐震化は待ったなしです。市は水道管の修繕も利用料金でまかなおうとしています。折込の「あびこ民報・秋号外」にある様に「古い水道管の交換費用まで市民に押し付けな

(R)

我孫子古道巡り

初88

柴崎から青山を巡る④



今回は「八幡神社」を巡ります。

八幡神社は、先月号で訪ねた無量院の南隣にあり、石段を上ると八幡神社です。



八幡神社石段

青山の旧村社で、祭神は菅田別命。日天子社の皇大神を合祀しています。開創は不詳ですが、16〜17世紀以来祀られているといえます。

鳥居をくぐり、参道には数々の石塔や石仏が並びます。



庚申塔

左の万治2年(1659)建立の「庚申塔」は市内で2番目に古いものです。



子育て地藏像

中でも右の「子育て地藏像」(1771)は『房総の石仏百選』に選ばれています。



八幡神社鳥居

山台1, 2丁目「で現在住宅街となっています。」



弘法大師石像



八幡神社社殿

旧水戸街道が青山を通るようになり、渡船場として人と物の往来が盛んになりました。さらに相馬霊場が開創され、無量院と対岸の取手の長禅寺からの巡拝者も増えましたが、大利根橋ができて運輸の主体が水運から陸運に変わりました。

（栄 関口）



電車特急「はつかり」

このダイヤ改正は国鉄が、は新型車両で電車化され、

常磐線あれこれ 57

東海道本線に比べて電化と複線化が遅れていた東北本線でしたが、複線電化は徐々に北上して、昭和43年8月ついに全線電化複線化が完成しました。そして、その年の10月1日にダイヤ改正が行われました。

1965年から実施した長期計画前半の総決算となる大規模なもので、新幹線及び特急列車の大増発、在来線特急電車120km/h運転によるスピードアップ、首都圏通勤輸送改善など大幅な改正が行われました。現在でも「43-10（よんさんとう）」ダイヤ改正として語り継がれています。

「ハイビスカス」

若松・高橋祥子



しらかば文芸欄 38 随筆・白山 N



「高額療養費制度」をご存じでしょうか？
この制度は、毎月（1日から月末まで）にかかった医療費の自己負担額が高額になった場合に、一定の金額を超えた分が、あとから払い戻される制度です。月をまたいだ場合は月毎に自己負担額を計算します。

引き上げを計画しています。病気の不安や身体のしんどさに加え、お金の不安があつては、辛さが倍増します。治療に集中できません。家族がいたら自分の命と家族のお金を比べるようなことが起こるかもしれません。



ダイヤ改正に先立ち9月9日から「はつかり」は従来のディーゼル特急の時刻で、常磐線経由のままで電車化されました。新型車両の「お披露目」ともとらえられますが、実際はそれまでのディーゼル特急の車両を東北・奥羽本線経由上野―秋田間の特急に転用するため、乗務員の訓練の目的で一足早く常磐線から去って行ったからです。